

特集

保育園に関わる全ての人を支援

子育て世代への支援をさらに充実します

子育ては一生に一度の大切な時間。小牧市では、子どもたちが元気に成長できる環境を整えるためのサポートを全力で行います。

人口減少や少子化が進展している状況の中、物価高騰などの影響により負担が増加している子育て世代の負担軽減、より手厚い子育て支援を行うため、保育園などに通う園児がいる世帯に対して、3つの側面からの支援を充実します。



県内初

保育園などの保育料を無償化

令和元年10月より無償化の対象となっている3歳児から5歳児に加え、**市独自**の少子化対策の拡充として、市内の保育園等を利用している**0歳児から2歳児まで**のすべての園児の**保育料**を所得や児童の出生順位に関わらず、令和5年4月から**無償**としました。

子どもの将来のために、浮いたお金で習い事をさせてあげられるのうれしい。(保育園保護者)

今までは、給料から保育料に回る金額が多く、何のために働いているのだろうと悲しい気持ちになっていたが、無償化されて、仕事のやる気がアップした。(保育園保護者)

2人目は半額を支払わなければならないと思っていた保育料が、0円となったことは、とてもうれしい。今回の無償化にはとても感謝している。(保育園保護者)

子育て世帯には、保育料の無償化はとてもうれしいことだと思う。自分が住んでいる自治体でも、ぜひやってほしい。(市外在住のこども未来館利用者)

1

保護者の経済的負担への支援を充実



保育料無償化の詳細はこちら▶



2 良好な保育環境の整備、ICT 化の支援を充実

保育園等の建て替え、整備を加速

低年齢化・多様化する保育ニーズに対応し、安心して子どもを預けていただくため、古くなった保育園の建て替えや統廃合の検討を加速し、より多くの**保育ニーズに応える**保育環境の整備に努めます。

また、0 歳児から2 歳児の保育の受け皿を速やかに確保するため、今年度中に小規模保育事業所を設置運営する事業者を公募します。

保育園のICT化を加速

タブレット端末などのICT 機器を配備（公立）

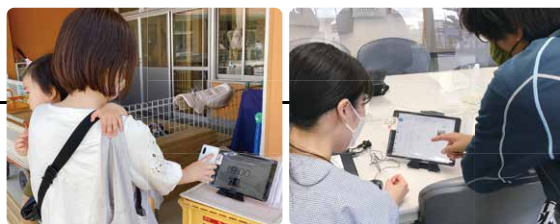
⇒保育園における業務のICT 化を推進

保育支援システム「コドモン」を導入（公立）

⇒お知らせ配信や登降園管理をシステム化し、保育園における業務等の**負担軽減・効率化**と保護者の利便性の向上、さらには**保育の質の向上**につながるよう運用

ICT 化推進の支援（私立）

⇒国の補助金を活用して、ICT 化を支援します。



3

保育士を確保し、

保育士の賃金改善

県内最高水準の正規保育士の初任給に加え、他市に先駆け、保育士に対して**市独自の賃金改善**を実施しています。

公立園の保育士

⇒月額9,000 円の手当

私立園の保育士

⇒賃金改善のための補助金

保育士に就職準備金を貸付

保育士不足を解消するため、市内の保育園などに勤務することが内定した保育士に対し、**最高50 万円**の就職準備金を貸し付けます。

そのまま市内の保育園などで3 年働くと就職準備金の**返済が免除**されます。

※R6/4 以後に市内の保育園などに保育士として勤務を開始する方から適用します。

※新卒者だけでなく、3 カ月以上の潜在保育士の方も対象となります。

3 年働くと、
50 万の返済が
免除!?



安全・安心な保育体制を充実



◀ 保育環境・保育士の詳細はこちら



保育料の無償化は愛知県では初めてであり、本市独自の少子化対策として実施します。少子化対策には、さまざまな切り口がありますが、①財政的にも実現可能で、②子育て世帯が子育てをする地として小牧を選んでいただくことに繋がる、という点で最も効果的だと判断しました。

その他にも、保育園へのさらなる支援を充実させることで、子育て家庭の経済的な負担軽減や、保育園に通う子どもが健やかに成長できる環境の実現を目指していきます。